Kodak

安全データシート

000000011800/版 2.0
承認日: 12.09.2011
発行日: 20.04.2012

1. 化学物質等および会社情報

製品名: KODAK ラピッドフィクサー および 補充液

製品コード: 6620017

供給者の詳細: コダック株式会社　郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台２ - ９
電話番号：03-5577-1500

緊急電話番号: （財）日本中毒情報センター 9時から21時まで：029-852-9999（無料）、 24時間：072-727-2499（無料）、医療施設の場合は0298(51)9999 、 又は072-726-9923

別名: PCD 4896

製品の使用用途: 写真現像用化学薬品（定着液）, 工業用のみ。

2.危険有害性の要約

GHS-分類

危険有害性クラス	危険有害性区分	暴露経路（標的臓器）
急性毒性	区分4	吸入-粉塵、ミスト
急性毒性	区分4	経口
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分2A	--
呼吸器感作性	区分1	--
生殖毒性	区分1B	--

急性水生毒性	区分3	--
慢性水生毒性	区分3	--

GHS-ラベリング

含む:

チオ硫酸アンモニウム (7783-18-8)

酢酸ナトリウム (127-09-3)

ホウ酸 (10043-35-3)

酢　酸 (64-19-7)

記号:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

吸入すると有害。
飲み込むと有害。
強い眼刺激。
吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ。
生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
長期的影響により水生生物に有害。

注意書き:

安全対策

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋および保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後はよく洗うこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

処置

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/ 手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/ 手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/ 手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。
飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

地方/地域/国内/国際規制に従って内容物/コンテナを処分してください。

3. 組成、成分情報

重量パーセント	成分及び含有量	CAS番号	化管法番号：	安衛法番号：	化審法番号：
40 - 45	チオ硫酸アンモニウム	7783-18-8		(1)-405	(1)-405
5 - 10	酢酸ナトリウム	127-09-3		(2)-692	(2)-692
1 - 5	ホウ酸	10043-35-3	第一種指定化学物質 - 304第一種指定化学物質 - 405第一種指定化学物質 - 405	(1)-63	(1)-63
1 - 5	亜硫酸アンモニウム	10196-04-0		(1)-399	(1)-399
1 - 5	酢　酸	64-19-7		(2)-688	(2)-688
0.1 - <1	重亜硫酸ナトリウム	7631-90-5		(1)-502	(1)-502

4. 応急措置

吸入した場合:

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

眼:

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/ 手当てを受けること。

皮膚:

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/
手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。

摂取:

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火手段:
水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。十分な量の水で洗い流す。

特殊な消火手順:
自給式の呼吸装置を被り防護服を着用します。火事または高温では有害な分解生成物が発生する場合があります。

有害燃焼生成物:
酸化炭素、酸化窒素 (NOx)、酸化硫黄, (有害分解生成物の章を参照)

異常な火災や爆発の危険:
残留物が乾くと還元剤としての役割を果たします。酸化物質と激しく反応します。可燃性、多孔性の物質 (例：ぼろきれ、紙、のこくず、綿、衣類) に吸収されると自然発熱し発火することがあります。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置:
推奨している保護具の使用については第8章を参照してください。

環境に対する予防措置:
漏出したものは下水溝に流れ込まないようにします。有害物を吸収した吸収剤を廃棄するときは地域の法規制に従って廃棄します。

除去方法:
こぼれた液体をバーミキュライトあるいは他の不活性なものに吸い込ませ、容器に入れて化学廃棄物として廃棄します。すぐに処分する時には不燃性の容器に入れます。表面を完全に拭いて残留物の汚染をとります。

7. 取扱いおよび保管上の注意

人体に対する予防措置:

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。目、皮膚、衣類に付かないようにします。使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。指定された個人用保護具を使用すること。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。適切な換気装置のみを使用する。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

火災または爆発の防止:
酸化剤、高度に酸素化またはハロゲン化した溶剤、還元性官能基を含む有機化合物には接触させないでください。衣類に付着したらすぐに脱いで洗います。

保管:
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。納品時の容器でのみ保管する。水分が抜けないように容器を完全に密閉します。不適合物質は近くに置かないでください（不適合の章を参照）。

8. 暴露防止および保護措置

職業上の露出管理

化学名	規制リスト	値のタイプ	価値
酢　酸	日本産業衛生学会	許容濃度	10 ppm 25 mg/m3

換気:
一般的に良いとされる換気を用います。就労上の適切な暴露限度を超えないような適切な換気が必要です。条件にあった換気率が必要です。特別な環境下では補助的な局所排気やクローズドシステム、防毒マスクの使用が必要な場合があります。

呼吸器の保護:
換気が不十分な場合には、適切な呼吸機器を使用してください。

目の保護具:
眼・顔面の保護具を着用してください。

手の保護具:
保護手袋を着用すること。

推奨される汚染除去施設:
安全シャワー、目の洗浄、使用条件に適した洗浄設備。

9. 物理的および化学的性質

物理的形態: 液体

色: 薄い黄色

臭い: 弱硫黄, 弱酢酸

比重: 1.32

蒸気圧 (20 °C (68.0 °F)): 24 mbar (18.0 mm Hg)

蒸気密度: 0.6

沸点/沸点範囲: > 100 °C (> 212.0 °F)

水溶性: 完全な

pH: 5.0

引火点: 引火しない

10. 安定性および反応性

安定性:
通常の状態では安定。

不適合性:
酸, 強塩基類, 次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）, ハロゲン化物,
酸化剤。次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）に接触するとクロラミン（有毒ガス）が発生する場合があります。強酸に接触すると二酸化イオウを発生する。塩基に接触すると可燃性の物質が放出されます。塩基に接触するとアンモニアが放出されます。

危険有害性のある分解生成物:
アンモニア, クロラミン, 窒素酸化物（NOx）, イオウ酸化物

有害な重合:
危険な重合はおこらない。

11. 有害性情報

暴露の影響

一般的アドバイス:

含む: ホウ酸。
動物での吸引の繰り返しによる調査で、生殖機能および発達機能に有害な影響が出る場合があります。しかしながら、深刻な暴露においても経口摂取は想定できないので、この物質を人間が多量に服用するすることは考えられません。

含む: 酢　酸。
非常に高濃度な気道の刺激物質の空気中濃度に急性暴露した場合は、感受性の強い人では喘息様にRADS(反応性気道疾患症候群）の発達に関係します。特に高濃度の空気中濃度は通常の使用では発生しませんが、漏出の後起こる場合があります。物質が漏出した場合、非常に高い空気中濃度になる可能性として、溶剤の濃度、漏出量、漏出した範囲、漏出した部屋の大きさ、およびその部屋の換気などの物質的要素によります。

吸入した場合:
吸入すると有害。吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ。喘息あるいは過敏症の人は呼吸困難になる場合があります。

眼:
強い眼刺激。

皮膚:
皮膚刺激。

摂取:
飲み込むと有害。喘息または亜硫酸に敏感な人の中には、ぜん鳴、胸絞搾、胃の不調、じんま疹、失神、虚弱および下痢を起こす場合があります。

急性毒性データ：

経口 LD50 (ラット): > 2,540 mg/kg

- 経皮 LD50: 20 mL/kg
- 皮膚への刺激: 中程度
- 目への刺激: やや

12. 環境影響情報

この製品の環境に対する影響についてはまだ試験していません。

GHS-分類 : 長期的影響により水生生物に有害。

この製品の環境に対する影響についてはまだ試験していません。以下の特性が調剤の成分から見積もられています。

毒性の可能性：

魚毒性 (LC50):	10 - 100 mg/l
ミジンコ属への毒性 (EC50):	> 100 mg/l
残留性と分解性:	すぐには生分解しない。

13. 廃棄上の注意

排出、処理、廃棄は国、県、地域の法規制に従います。容器が空になっても残留物が付いていますので、容器に貼ってあるラベルの指示に従います。

14. 輸送上の注意

すべての点で輸送上の規制がありません。

輸送の詳細については次に進んでください。www.kodak.com/go/ship.

15. 適用法令

通知状態

規制リスト	通知状態
TSCA	全ての成分物質がリストに記載されている
DSL	全ての成分物質がリストに記載されている
NDSL	記載されていない
EINECS	全ての成分物質がリストに記載されている
ELINCS	記載されていない
NLP	記載されていない
AICS	全ての成分物質がリストに記載されている
IECS	全ての成分物質がリストに記載されている
ENCS	全ての成分物質がリストに記載されている
ECI	全ての成分物質がリストに記載されている
NZIoC	全ての成分物質がリストに記載されている
PICCS	全ての成分物質がリストに記載されている

製品の安全性

毒物及び劇物取締法:	成分は規制されていない
消防法:	消防法において危険物とは分類されない。
労働安全衛生法危険物:	指定可燃物: 酢　酸

16. その他の情報

本書記載の情報は如何なる保証の責任を負うものではありません。これらのデータは他の情報の補助的な情報でしかありません。これらのデータで情報を集め、確認のためにはすべてのソースから情報を収集して物質の適切な使用と廃棄、社員や顧客の安全および健康、環境保護について確認しその適用性および完全性について個々に決める必要があります。使用液に関する情報はガイダンスのみを目的としており、説明書に基づいた製品の正しい混合と使用をもとにしています。